



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.1
令和4年4月14日
文責：校長 福島

潤いの雨



106人の1年生を迎え、学校は喜びにあふれています。本年度も「潤いのある学校・家庭・地域づくり」を重点目標とし、すべての子供が安心して過ごせる場づくりに努めてまいります。

今日は雨の一日となりました。朝は校門で子供たちを迎えます。1年生も元気にエアタッチができています。8時を過ぎた頃でした。2年生の子供が立ち止まって話しかけてきました。「校長先生ごめんなさい。傘が当たって校長先生の服を濡らしてしまいました。」なんて優しい子でしょう。気づくことも素晴らしいし、こんな言葉が出てくることも素晴らしいです。私はウインドブレーカーを着ていたのでこんな言葉を返しました。「大丈夫だよ。この服はぬれてもいい服なんだよ。あやまってくれてうれしかったです。ありがとう。」

こんな感性をもった子供が育っていることをうれしく思うと同時に、その感性に気づく教師でありたいと思っています。私が思い描く「潤い」の1コマに出会った雨の朝でした。

「えんじゅ」4年目 よろしくおねがいします

本年度もこうして「えんじゅ」を書けることに心から感謝しています。「えんじゅ」というのは、運動場の東側にある木です。樹齢100年を超えるものと思われ、市の指定天然記念物です。漢字で「槐」と書き、魔除けや幸せを呼ぶという意味もあるそうです。「延寿」「縁授」と書くこともあり、いずれにしてもいい意味をもった木です。令和2年度末に樹木医による治療を受けましたが、たくましく枝葉を茂らせています。

「えんじゅ」は、私が感じたことや校長室から見えること等書きたいことがあるときに不定期に書いています。皆様の心に少しでも引っかかる内容があれば幸いです。学校便りのように大切な連絡を載せるものではありませんので、お気軽にお読みください。

